

Dell | インタラクティブプロジェクター
S560T
タッチ設定ガイド



注意について

- ✍ **メモ**：「メモ」は、プロジェクトの使用に際して役立つ重要な情報です。
- △ **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。
- ⚠ **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2016 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標 :Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。Microsoft および Windows 7 と Windows Vista は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

2016 年 6 月

プロジェクターのタッチを設定

使用上のご注意

このユーザーズマニュアルで推奨されるすべての警告、注意事項、メンテナンスに従ってください。

⚠ 警告：タッチユニットは分解しないでください。

⚠ 警告：タッチユニットは火気の近く、または直射日光または日の当たる車内など高温になるような場所で使用、保管、放置しないでください。

⚠ 警告：標準 USB ケーブルを使用（最大長：16.4 フィート (5 m)）。5m を超えて USB ケーブルを延長する場合には、認定されたアクティブ延長 USB ケーブルが必要です。

⚠ 警告：タッチユニットの中には液体や異物が入らないようにしてください。

注意事項

プロジェクターの赤外線 (IR) カメラは、ホワイトボードに取り付けられているタッチユニットからの赤外線信号を受信します。

正常に操作するには：

- IR カメラを壁の投影画像領域に向けます。
- IR カメラとタッチユニットの間に障害物がないようにします。
- IR マイク、照明機器、住宅用暖房器具など、その他の赤外線通信装置を近くに置かないでください。
- アクセサリキットのインタラクティブケーブルのみを使用してください。L 側コネクタはタッチユニットに接続しません。

メンテナンス：ダストブローワーで光ポートを優しく清掃します。

使い方

- タッチユニットは不可視の弱い IR の光でホワイトボード全体をカバーします。
- 指またはスタイラスが光のカーテンに割り込むと、IR 光が IR カメラに反射します。
- カメラモジュールは複数のタッチポイントを追跡し、USB 経由でコンピューターに位置を知らせます。
- タッチ機能を最適化するために、スクリーンの非平坦性は 0.2 インチ (5mm) 未満にしてください。

仕様

I. タッチユニット (S560T のみ)	
レーザーの安全性	クラス 1
タッチユニットからスクリーンまでの距離	0.79 インチ ~ 3.94 インチ (20 mm~100 mm) @81"~100" 1080p
LED インジケーター	青 / 赤
I/O ポート	インタラクティブジャック x1
タッチスクリーン調整	2 ノブ調整と可視光で
ID サイズ (W*L*H)	5.91 (W) x 1.97 (L) x 1.57 (H) インチ (150.0 (W) x 50.0 (L) x 40.0 (H) mm)
質量	<330 g
消費電力	12V/0.3A
動作温度	0 °C~+40 °C (冷却ファンなし)
保管温度	-20 °C~+60 °C
II. 一般仕様	
スクリーンの非平坦性	<0.2 インチ (5 mm)
ディスプレイモード	天井モードのみサポート

<p>キャリブレーション</p>	<p>1. マニュアルキャリブレーション： 9点マニュアルキャリブレーション、 1080p モデル：+/- 6ピクセル（スクリーンの非平坦性 <0.2 インチ (5mm)）</p> <p>2. 自動キャリブレーション： 1080p モデル：+/- 8ピクセル（スクリーンの非平坦性 <0.2 インチ (5mm)）</p> <p>3. 1キーキャリブレーションをサポート</p>
<p>縦横比の補正</p>	<p>異なるディスプレイ解像度と縦横比に自動キャリブレーション</p>
<p>マルチタッチ</p>	<p>Windows 7/8/10：10点タッチポイント</p>
	<p>Mac：1点ポイントタッチ</p>
	<p>ChromeBook：10点タッチポイント</p>
<p>マルチタッチ最小距離</p>	<p>≥1.57 インチ (40mm) 以上</p>
<p>トラブルシューティングビューアー</p>	<p>ユーティリティはトラブルシューティングのためのリアルタイム画像をサポート。</p>
<p>有効投影画像サイズ</p>	<p>81"~100" @1080P（S560T プロジェクターとの組み合わせ）</p>

III. OS 要件		
システム要件	プロセッサタイプ	Intel Core™ i3（以上）または同等の AMD Core。
	RAM	2 GB 以上

オペレーティングシステム	サポートされるタッチポイントの数	S560x インタラクティブユーティリティのインストール ^{*1}	
		初回設定 ^{*2}	以降の使用
Windows 7/8/10	10 点タッチポイント	サポート ^{*3}	必要なし
Mac OS X (10.7-10.11)	1 点タッチポイント ^{*4}	サポート	必須。S560T を使用するすべての Mac OS コンピューターにセットアップユーティリティをインストールしてください。
Chromebook	10 点タッチポイント	未サポート。S560T の初回設定を完了するためには、Windows OS または Mac OS コンピューターを使用してください。	必要なし

*1: Get S560x インタラクティブユーティリティは、付属の CD または Dell サポートからダウンロードできます。

*2: S560T は初回のアライメントとキャリブレーションが必要です。使用前の設定プロセスを完了してください。

*3: .NET Framework 4.0 のインストールが必要です

*4: Mac OS は 1 点タッチポイントのみサポート

ステップ 1：環境チェック

A プロジェクターは次の条件で設置されていること：

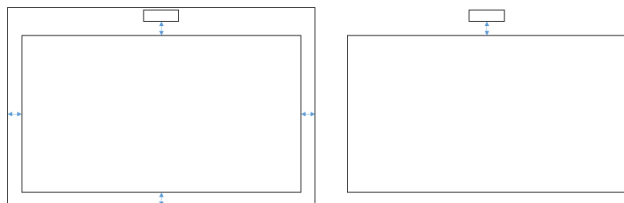
- 投影画像のチラつきを回避するために、壁が十分に強固なこと。
- 直射日光の当たる場所にプロジェクターまたはスクリーンを設置しないこと。プロジェクターやスクリーンに直射日光が当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しない場合があります。
- 表面はタッチユニットをネジ留めするのに適している必要があります。
- スクリーンの投影画像はシャープで見やすく、光の反射やホットスポットがあってはなりません。
- スクリーン表面は平で、非平坦性は 0.2 インチ (5mm) 未満が必要です。表面は平らな壁またはホワイトボードが可能です。表面の平坦性の確認方法については、ページ 10 を参照ください。

- 反射干渉を回避するため、投影画像のクリアランス境界に最低 2 インチ (50mm) 確保してください。
- タッチ機能と干渉するため、その他の IR 装置は許可されません。例えば IR マイクです。
- 最大長さ 16.4 フィート (5 m) の標準 USB ケーブルを使用します。USB ケーブルが 16.4 フィート (5 m) の場合、USB ハブまたは認定されたアクティブ延長 USB ケーブルが必要です。
- 投影画像は長方形です。

投影面が上記の基準を満たしている場合、タッチユニットは次のいずれかの方法で設置できます。

- 1 ホワイトボードにタッチユニットを設置。

2 壁面にタッチユニットを設置。



メモ：タッチユニットは、投影画像と同じ表面に設置が必要です。

B S560T ホワイトボードサイズの案内

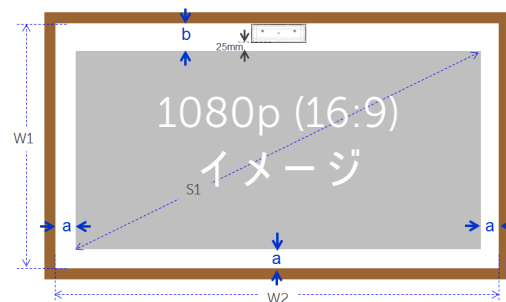
ホワイトボードにタッチユニットを設置する場合には、以下のガイドラインに従ってください。

a と b の空間は、タッチユニット用に予約されています。

- 寸法 a = 50 mm
- 寸法 b = 77 mm

S1	W1	W2
81.0 [2057]	≥ 44.7 [1136]	≥ 74.5 [1893]
85.0 [2159]	≥ 46.7 [1186]	≥ 78.0 [1982]
89.1 [2263]	≥ 48.7 [1237]	≥ 81.6 [2073]
90.0 [2286]	≥ 49.1 [1248]	≥ 82.4 [2092]
95.0 [2413]	≥ 51.6 [1310]	≥ 86.7 [2203]
100.0 [2540]	≥ 54.0 [1372]	≥ 91.1 [2314]

* インチ [mm]



C 投影表面平坦性の測定

- 基準：全体的なホワイトボードの平坦性 < 0.2 インチ (5 mm)、タッチユニット取り付けエリアの必要な平坦性 < 0.12 インチ (3 mm)。
- 装置：水準器 3.94~4.92 フィート (1.2~1.5 m) と厚みゲージ。



D-1) 以下の表のように、投影面積を 16 個に均等に分割します。水準器をホワイトボードに配置します。

D-2) 次の順番で 1-9 点の位置に 0.2 インチ (5mm) の厚みゲージを挿入します。

水平 :

- 測定点 1、2、3。
- 測定点 4、5、6。
- 測定点 7、8、9。

	Point1	Point2	Point3
	Point4	Point5	Point6
	Point7	Point8	Point9

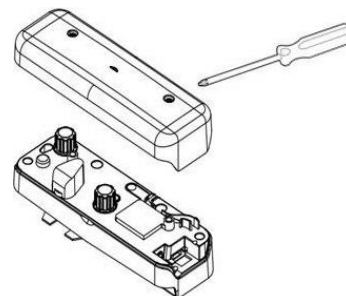
垂直 :

- 測定点 1、4、7。
- 測定点 2、5、8。
- 測定点 3、6、9。

D-3) 0.2 インチ (5 mm) の厚みゲージが挿入できない場合、ホワイトボードの平坦性は 0.2 インチ (5 mm) 未満で、指タッチが可能であることを意味しています。

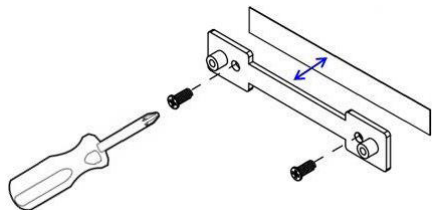
ステップ 2 : タッチユニットの設置

- 1 プラスドライバーで上部カバーを開きます (モデル : 1 番)。



- 2 ホワイトボードまたは壁にベースプレートを取り付けます。画像領域までの距離を保ちます :
 - ベースプレートの下部から 2.17~5.31 インチ (55~135 mm)

- タッチユニットの下部から 0.79~3.94 インチ (20~100 mm)



2-1. 表面を清掃します。

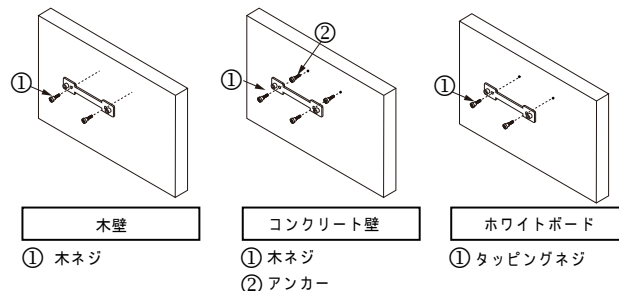
2-2. 両面テープ（アクセサリボックスに同封）をベースプレートに貼り、プレートをホワイトボードまたは壁に貼り付けます。

2-3. 黒ネジを使用して、ベースプレートをホワイトボードまたは壁に固定します。

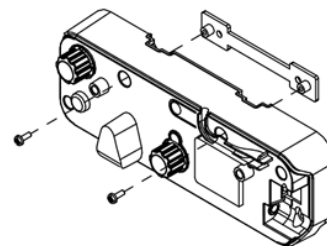
- ドリル先端： $\varnothing O=0.09$ インチ (2.3 mm)
- ネジタイプ：M3x6L
- ネジ頭： $\varnothing O<0.22$ インチ (5.5 mm)、厚み <0.1 インチ (2.5 mm)

2-4. 付属の 2 本の黒ネジは一般的なホワイトボード材質であるアルミニウム製ハニカムボードに適したタッピングネジです。

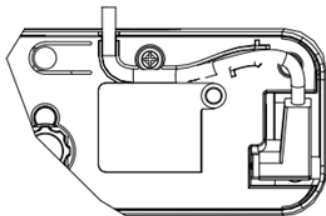
■ **メモ**：木材、コンクリート壁などその他の表面には、適した種類のネジを使用してください。




3 白ネジで壁プレートにタッチユニットを固定します。



4 タッチユニットに電源コードを接続します。



 **メモ** : L側コネクターをタッチユニットに接続してください。

ステップ 3 : ユーティリティソフトウェアのインストール

A システム要件

タッチ機能の正常な動作のためには、以下の要件に従って、システム条件を確認してください。

システム要件	プロセッサタイプ	Intel Core™ i3（以上）または同等の AMD Core。	
	RAM	2 GB 以上	
オペレーティングシステム	サポートされるタッチポイントの数	S560x インタラクティブユーティリティのインストール ^{*1}	
		初回設定 ^{*2}	以降の使用
Windows 7/8/10	10 点タッチポイント	サポート ^{*3}	必要なし
Mac OS X (10.7-10.11)	1 点タッチポイント ^{*4}	サポート	必須。S560T を使用するすべての Mac OS コンピューターにセットアップユーティリティをインストールしてください。
Chromebook	10 点タッチポイント	未サポート。S560T の初回設定を完了するためには、Windows OS または Mac OS コンピューターを使用してください。	必要なし




*1 : Get S560x インタラクティブユーティリティは、付属の CD または Dell サポートからダウンロードできます。

*2 : S560T は初回のアライメントとキャリブレーションが必要です。使用前の設定プロセスを完了してください。

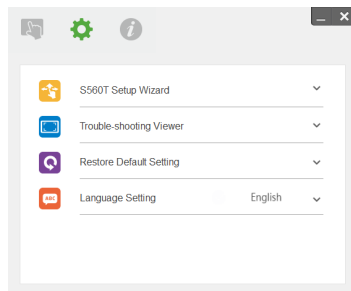
*3 : .NET Framework 4.0 のインストールが必要です

*4 : Mac OS は 1 点タッチポイントのみサポート

B CD からソフトウェアユーティリティをインストールします。ユーティリティアイコンのステータス :

	指 / スタイルラス
	アクティブペン
	切断済み

C ユーティリティを起動 :

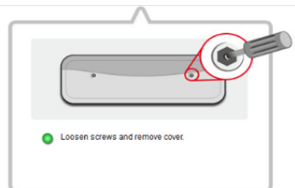
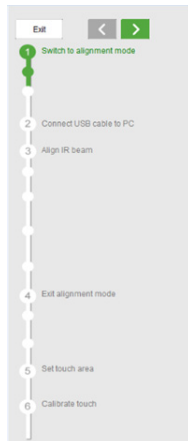
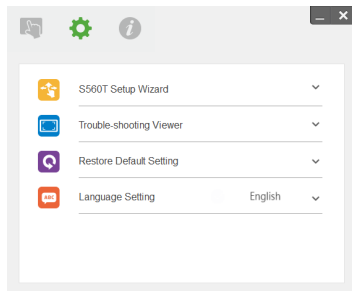


D 環境設定 :

より高い精度のためには、キャリブレーション前に「プロジェクターのみ」表示モードに設定してください。

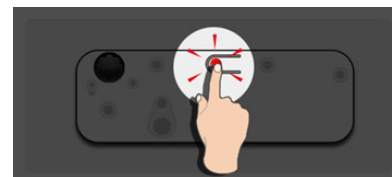
ステップ 4：設定ウィザード

S560T 設定ウィザードに従い、タッチユニットインストール手順を完了します。



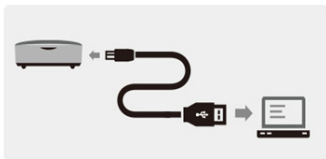
ステップ 5：タッチセンサーの調整

- 1 ボタンを押して、タッチユニットをアライメントモードに切り替えます：赤色光がインジケーターで点滅します。



LED インジケーター			
モード	青色 LED	赤色 LED	説明
IR レーザーモード	点灯	--	IR レーザーオン
アライメントモード	点灯	点滅	可視光オン (IR レーザーオフ、タッチ無効)
エラー	--	点灯	LD モジュールエラーが発生しました。

- 2 「プロジェクターのみ」モードで、投影するコンピューターを設定します。プロジェクターからコンピューターにUSBケーブルを接続します。

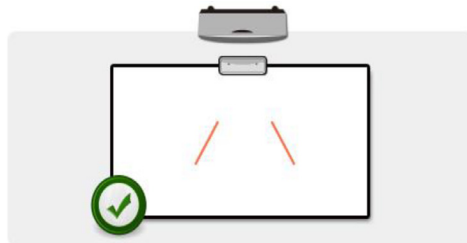


- メモ：**適切なキャリブレーションの前、初回設定時に干渉や好ましくないタッチトリガーを避けるため、プロジェクターからコンピューターにUSBケーブルを接続する前に、タッチユニットをアライメントモード（ステップ1）に切り替えておいてください。

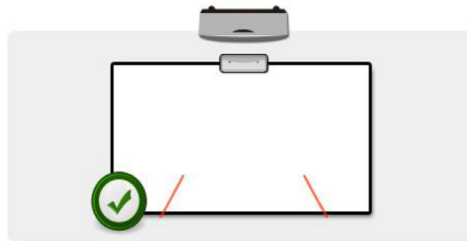
- 3 両方の調整ノブを時計回りに完全に回します。



- 4 両方のビームが同じ高さで対称になるまで、灰色のノブを反対回りに回します。



- 5 両方のビームがホワイトボードの下端に達するまで、黒いノブを反時計回りに回します。



- 6 付属のステッカーを使用して、ホワイトボード表面から4-6mm離れたステッカーの灰色ゾーンの上に各ビームがあることを確認します。

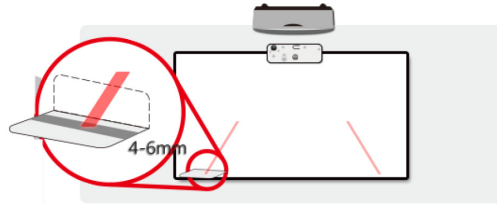
そうでない場合には、黒と灰色ノブを回して、各ビームを調整します。

(ステップ 4 & 5)

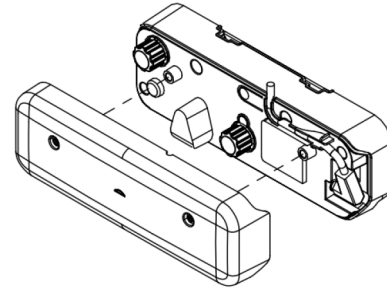
黒色ノブ：可視光をライトステッカーに移動させます。

グレーノブ：可視光を同じレベルで対称に調整します。

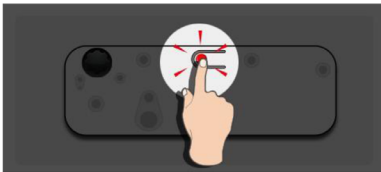
可視光は灰色ゾーンの中に位置することが必要です。



8 上部カバーを戻します。

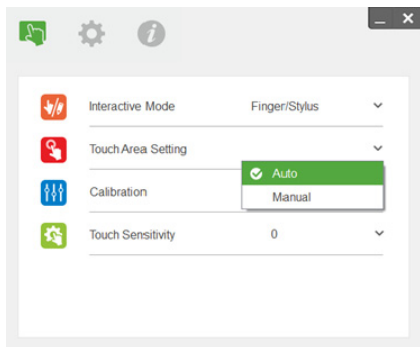


7 ボタンを押してアライメントモードを終了し、赤色点滅が消えます。インジケータライトが青色になります。



ステップ 6：タッチエリア設定

A 自動タッチエリア設定の選択：

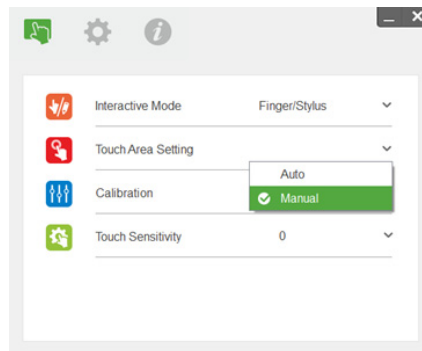


メモ：

- すべてのソフトウェアアプリケーションを終了
- 周囲の光を低減
- タッチエリア設定時にはレンズを塞いだり、揺らしたりしないこと
- 投影画像が明瞭かどうか確認する。明瞭でない場合には、ピントを合わせて画像をシャープにする

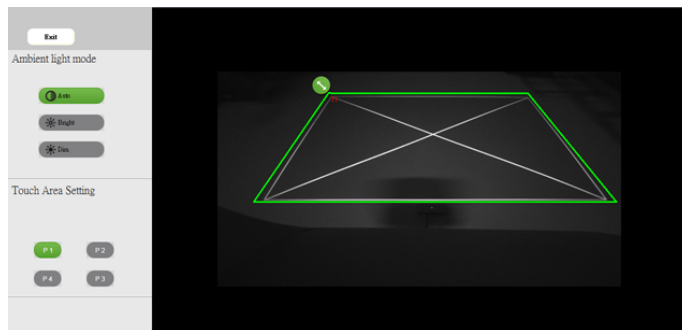
失敗メッセージがポップアップで表示された場合、マニュアルタッチエリア設定に切り替えます。

B マニュアルタッチエリア設定の選択：



- B-1. カメラが投影画像をキャプチャー後、タッチエリアウィンドウがポップアップします。キャプチャー画像が十分に鮮明でない場合には、実際の周囲光状況に合わせて、「周囲光モード選択」を「自動」から「明るい」または「暗い」に再選択してください。

備考：キャプチャー画像は投影画像とは反転した、実際のカメラビューを示しています。例：P1は右下隅、P2は左下隅などです。



B-2. タッチエリア境界微調整

ステップ 1： P1 をクリックし、マウスを使用して P1 を左上隅までドラッグします。調節可能な緑色ゾーンと、投影された白フレームを合わせます。

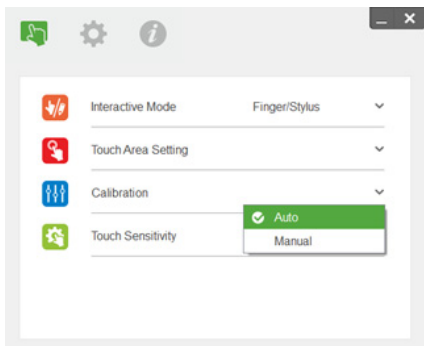
ステップ 2： 同様に P2 から P4 まで調整します。調節可能な緑色ゾーンは投影された白フレームと完全に重なります。

ステップ 3： 最後に、緑色フレームが投影された白フレームと完全に重なっていることを再度確認します。重なっていない場合には、再度微調整します。

B-3. タッチエリアが正しく配置されている場合には、終了ボタンをクリックします。

ステップ7：キャリブレーション

A 自動キャリブレーション：



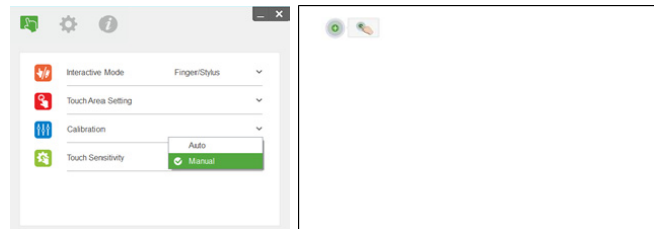
メモ：失敗のメッセージがポップアップ表示された場合には、以下の手順に従い、トラブルシューティングして、自動キャリブレーションを再実行してください。

- すべてのソフトウェアアプリケーションを閉じる
- 周囲の光を低減
- キャリブレーション時にはレンズを塞いだり、揺らしたりしない

- 投影画像が明瞭かどうか確認する。明瞭でない場合には、ピントを合わせて画像をシャープにする

画面に「自動キャリブレーション失敗」メッセージがまだ表示されていれば、マニュアルキャリブレーションに切り替えま


B マニュアルキャリブレーションの選択：

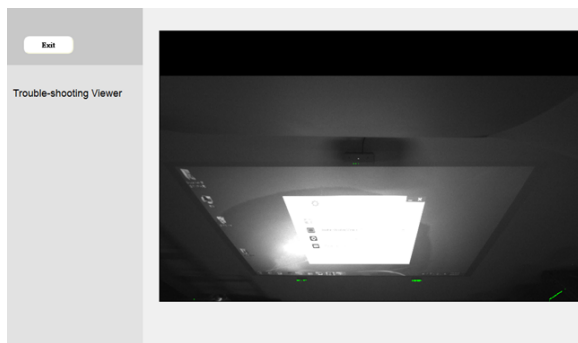


メモ：マニュアルキャリブレーションは高い精度のために推奨されています。


ステップ 8 : トラブルシューティングビューアー

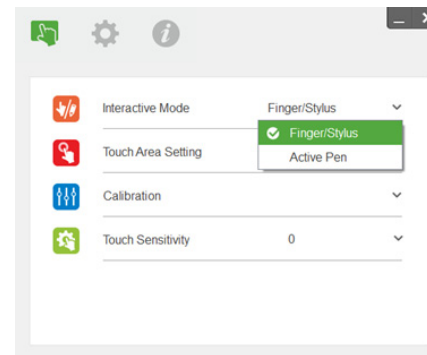
周囲光源からの赤外光（IR 光）がタッチ性能と干渉することがあります。トラブルシューティングビューアーは、デバッグ目的のリアルタイム画像を表示します。任意の光干渉は緑色でマークされます。緑色の障害物が画像領域内に表示された場合には、適切な双方向性を確保するために、これを取り除いてください。

 **メモ**：インタラクティブ機能は、トラブルシューティングビューアーでは無効です。クリックして終了します。



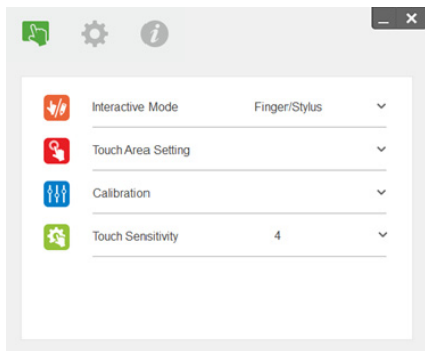
ステップ 9 : 操作モード

ユーザーが IR ペンを使用時は、ペンモード () に切り替えられます。




ステップ 10 : タッチ感度

タッチ機能が応答しない、または書き込みが途絶える場合には、タッチ感度レベルを調整して、感度を調節できます。



- デフォルト : 4
- 最大 : 10 (最高感度)
- 最低 : 0 (最低感度)

 **メモ** : タッチ感度はペンモードでは調整できません。

トラブルシューティング

Q1 タッチ機能が正確でないときは何が必要ですか？

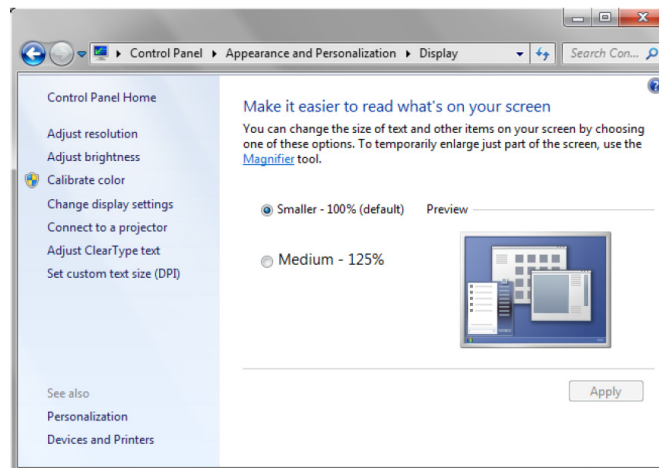
A :

より高い精度のためには、キャリブレーション前に「プロジェクターのみ」表示モードに設定してください。

A-1 :

タッチ精度は Windows のデフォルト表示設定を変更したときに影響を受けることがあります。

A-1-1 : 設定ページ : 開始メニュー > コントロールパネル > デスクトップのカスタマイズに移動します。



A-1-2 : 「小 - 100% (既定)」を選択して、「適用」をクリックします。

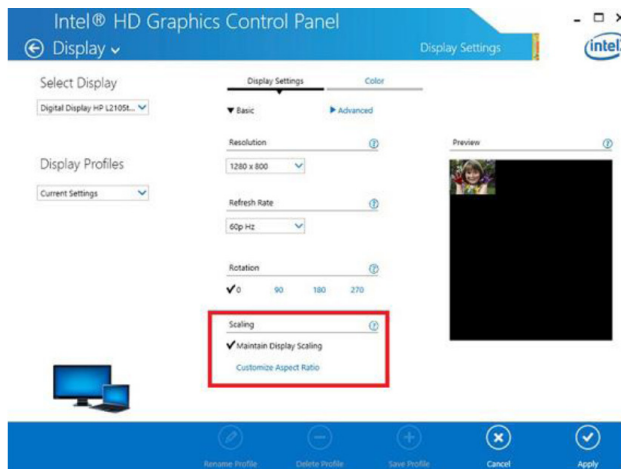
A-2 :

コンピューターの解像度を調整する、または別のコンピューターを接続した場合。

不具合の症状：ボードの中央で、カーソルとペンが合わさっています。ペンを左または右に動かすと、カーソルが分離し始めます。この問題はグラフィックカードドライバーの設定が原因のことがあります。

Intel グラフィックカードの場合の手順：

- 1 グラフィックカード出力解像度が、プロジェクター情報と同じことを確認します。
- 2 Intel HD グラフィックコントロールパネルの「スケーリング」設定は、「表示スケーリングを維持」でなければなりません。このオプションを有効にしていない場合、LCD モニターのネイティブ縦横比で出力します。投影画像がスケールされ、不正確な投影となります。



Q2 異なる表示モード（複製 / 拡張）を使用時、タッチ機能が不正確または動作しない場合には、どうすれば良いですか？

A-1 :

複製モード : ノート PC とプロジェクターが同じ解像度の場合には正確です。Q1 A-2 に従って「スケーリング」設定を「表示スケーリングを維持」に設定して、キャリブレーション機能を再度使用します。

拡張モード : 「プロジェクターのみ」モードに設定して、キャリブレーション機能を使用します。次に Q3 に従います。

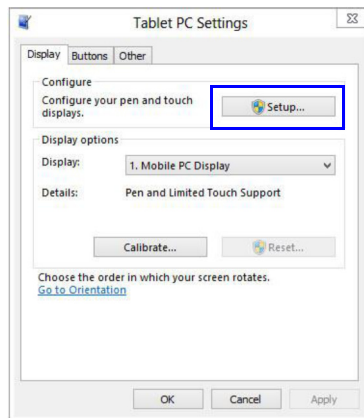
Q3-1 なぜ拡張モードでタッチ機能が動作しないのですか（ノート PC : メイン、プロジェクター : 拡張）？

Q3-2 1 台のコンピューターから複数のプロジェクターへのタッチ機能を有効にする方法？

A : これら 2 つの質問の答えは同じです :

- 1 インタラクティブユーティリティの機能は、メインスクリーンのみをサポートします。「タブレット PC 設定」を使用して、拡張スクリーンでタッチ機能を動作させます。

「コントロールパネル」->「タブレット PC 設定」->「設定」に進み、タッチスクリーン設定に従います。



Q4 投影領域の隅がぼやけているまたは断続的な線が見える場合にはどうすれば良いですか？

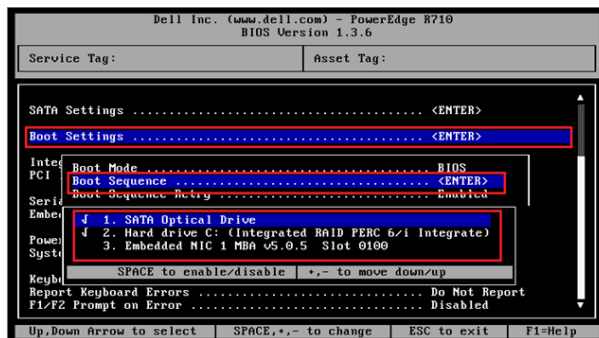
A :

- 1 タッチ感度のレベルを、高感度に調整します。タッチ感度のトラブルシューティングにはステップ 10 を参照ください。
- 2 タッチ機能の感度が悪いままの場合には、光ポート接続の状態を確認してください。埃や粒子が見られる場合には、ダストブローワーで光ポートを丁寧に清掃してください。

Q5 PC とプロジェクターを接続する USB ケーブルが接続されているとき、コンピューターをブートできないのはなぜですか？

A :

- 1 コンピューターから USB ケーブルを取り外し、コンピューターをリブートします。
- 2 コンピューターの BIOS 設定ページに進み、「ブート順序」でハードディスクを再優先に変更し、変更を保存して、コンピューターを再起動します。

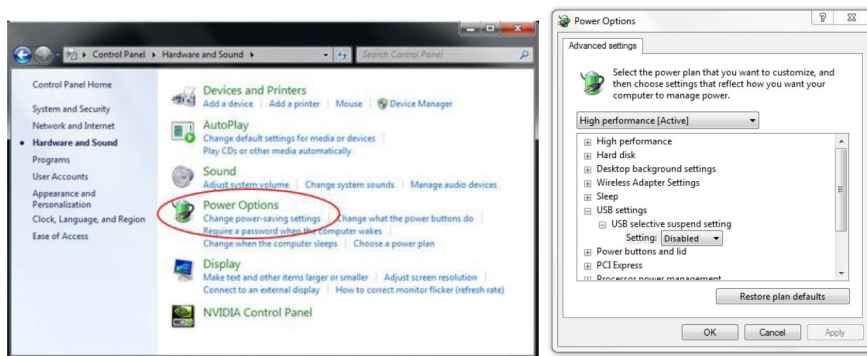


Q6 Windows システムが USB 機器を認識できないときはどうしますか？

A :

- A-1 USB ケーブルを抜き差しして、再度確認します。
- A-2 別の USB ポートに切り替えて、再度確認します。
- A-3 コンピューターを再起動して、再度確認します。

A-4 コントロールパネルの [電源オプション] に進み、[詳細設定] の [USB 設定] にある [USB のセレクトティブサスペンドの設定] をチェックします。「無効」に切り替えます。



- A-5 ラップトップ /PC メーカーの公式ウェブサイトから、USB ドライバーを最新バージョンにアップデートします。
- A-6 プロジェクターに付属の USB ケーブルを使用して、再度確認します。USB の延長が必要な場合、USB ハブまたは認定されたアクティブ延長 USB ケーブルが必要です。
- A-7 コンピューターの USB ポートが動作していない可能性があります。IT スタッフに連絡してください。


Q7 マウスがブロックしたときにはどうしますか？

A :

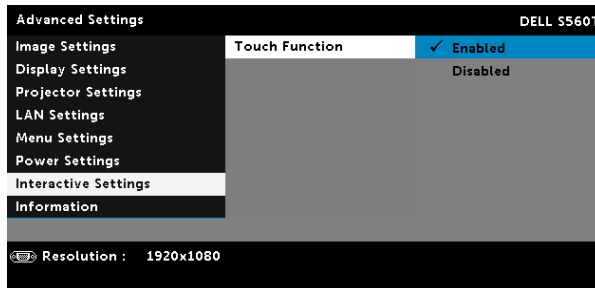
- 1 ドライバーでカーテンカバーを開きます。
- 2 ボタンを押して可視光モードに切り替え（ステップ 5：タッチセンサーの調整を参照）、マウスのブロックを解除します。次にステップ 5 に従います。ページ 15 のとおりに、タッチセンサーを調整します。

Q8 なぜユーティリティアイコンが緑色（/）ではなく、赤色（）なのですか？

A :

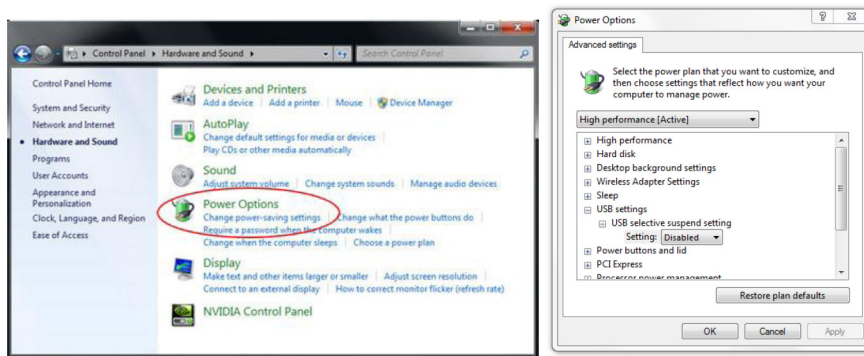
赤色アイコン（）は接続不良を示しています。これは次のことが原因の可能性あります。

- 1 インタラクティブ機能が OSD 選択で有効かどうか確認します



- 2 USB ケーブルを抜き差しして、再度確認します。
- 3 別の USB ポートに切り替えて、再度確認します。
- 4 コンピューターを再起動して、再度確認します。

- 5 コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > 電源オプション > プラン設定の変更 > 詳細な電源設定の変更 > USB 設定 > USB のセレクトティブサスペンドの設定。「無効」に切り替えます。



- 6 ラップトップ /PC メーカーの公式ウェブサイトから、USB ドライバーを最新バージョンにアップデートします。
- 7 ラップトップ /PC メーカーの公式ウェブサイトから、BIOS ドライバーを最新バージョンにアップデートします。
- 8 プロジェクターに付属の USB ケーブルを使用して、再度確認します。USB の延長が必要な場合、販売店にお問い合わせください。
- 9 コンピューターの USB ポートが動作していない可能性があります。IT スタッフに連絡してください。

Q9 タッチエリア設定とキャリブレーションはいつ行いますか？

A :

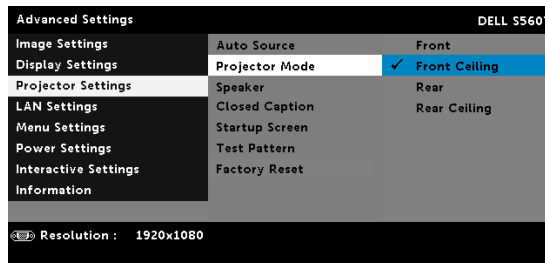
初回インストール時にタッチエリア設定とキャリブレーションを行ってください。プロジェクターまたはホワイトボードを動かした場合には、タッチエリア設定とキャリブレーションを再度行ってください。

- より高い精度のためには、マニュアルキャリブレーションを行ってください。
- オフセットが大きすぎる場合には、マニュアルキャリブレーションを実行し、ステップ7を確認してください。キャリブレーションはページ20に説明があります。

Q10 自動キャリブレーションと自動タッチエリア設定の両方が失敗した場合にはどうすれば良いですか？

A :

- 1 「天井取付」OSD設定を最初に確認してください。インタラクティブ機能は天井モードのみをサポートしています。

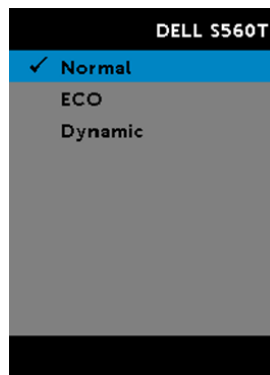


プロジェクター OSD メッセージが表示された場合、自動キャリブレーションと自動タッチエリア設定機能は動作しません。自動キャリブレーションと自動タッチエリア設定を実行する前に、OSD、メッセージが消えるまでお待ちください。

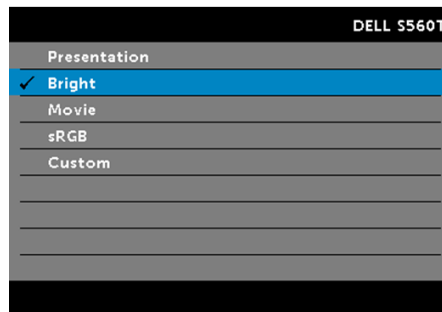
VGA
1920x1080 60Hz

以下のトラブルシューティング手順に従い、自動キャリブレーションと自動タッチエリア設定を再度実行してください。

- a すべてのソフトウェアアプリケーションを終了
 - b 周囲の光を低減
 - c キャリブレーション時にはレンズを塞いだり、揺らしたりしない
 - d 投影画像が明瞭かどうか確認する。明瞭でない場合には、ピントを合わせて画像をシャープにします。
 - e 「自動タッチエリア設定が失敗」または「自動キャリブレーションが失敗」のメッセージがスクリーンに再度ポップアップ表示された場合には、マニュアルモードに切り替え、タッチエリア設定とキャリブレーションを行ってください。
- 2 プロジェクターランプ電源モード選択を確認してください。低照度（エコモード）では、自動タッチエリア設定と自動キャリブレーションの両方に影響することがあります。通常モードに切り替え、タッチエリア設定とキャリブレーションを完了してください。



- 3 プロジェクターカラーモード選択を確認してください。自動タッチエリア設定と自動キャリブレーションの両方の精度を確保するためには、カラーモードをブライトモードに切り替えることをお勧めします。



Q11 マウスのカーソル () がスクリーン上で点滅またはジャンプしたとき、または特定の投影領域でタッチ機能が動作しない場合には、どうすれば良いですか？

A :

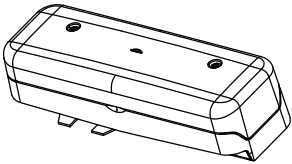
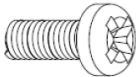
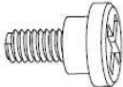
- 1 タッチセンサーが調整され、レーザー光線がスクリーンに対して平行であることを確認してください。詳細手順については、ステップ5 タッチセンサーの調整を参照ください。
- 2 詳細手順については、ステップ6 タッチ領域設定を参照し、マニュアルタッチ領域境界が適切に配置されているか確認します。
- 3 画面に強い光が見えるか確認してください。見える場合には、ライトを消します。
- 4 画面に他の物体があるか確認してください。ある場合には、異物を取り除きます。
- 5 反射干渉を回避するため、投影画像のクリアランス境界に最低2インチ (50mm) 確保してください。

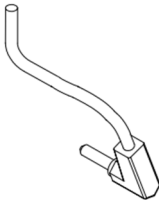
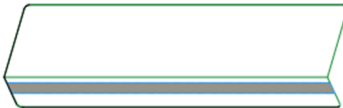
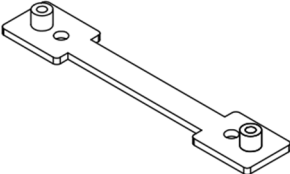
Q12 1点タッチポイントだけの場合にはどうしますか？

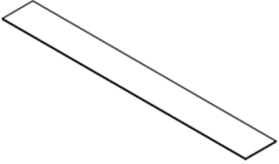
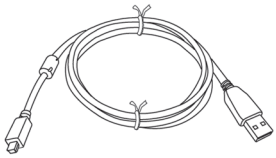
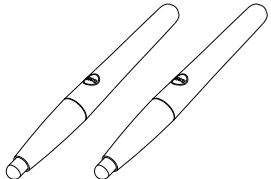
A :

- 1 Mac コンピューターは1点タッチポイントのみサポートしています。
- 2 WINDOWS コンピューターでは、以下の提案を参照ください。
 - 2.1 コンピューターのUSB ケーブルを接続し直し、再度確認します。
 - 2.2 「コントロールパネル」に進み、「Tablet PC コンポーネント」が選択されていることを確かめます。

付録 B : アクセサリ

項目	説明	数量
1	タッチユニット 	1
2	白ネジ M2.6x6 (タッチユニット固定用) 	2
3	黒ネジ M3x6 (ベースプレート固定用) 	2

4	インタラクティブケーブル 	1
5	アライメントステッカー 	2
6	タッチユニットベースプレート 	2

7	<p>両面テープ (ベースプレート用)</p> 	1
8	<p>16.4 フィート (5 m) USB A to mini USB B ケーブル</p> 	1
9	<p>パッシブペン</p> 	1

10	<p>ユーザーマニュアルとユーティリティソフトウェア CD</p> 	2
----	--	---

印刷国中国。

リサイクル紙に印刷。

www.dell.com/support